

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 地域計画連合

②事業者情報

名称：	アスクわかば保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	藤松 智子	定員(利用人数)：	60 名
所在地：	〒 350-0214 埼玉県坂戸市千代田3-21-23 ヴィラ・ボンセ ジュール若葉1F Tel 049-280-5777		

③総評

<p>◇特に評価の高い点</p> <p>○子どもの安全に配慮した様々な活動が実施され、運営理念等の実現に努めている 日常的に発生する可能性のある緊急時に備え、毎朝、次亜塩素酸の消毒液を調合してトイレ配置し、子どもの突然の嘔吐に備えたり、不審者対応訓練などを実施している。災害時の発生に備え保護者との連絡方法として災害伝言ダイヤル、災害伝言版を設置し防災の日の1月16日には保護者も参加して「災害伝言板、引渡訓練、災害伝言ダイヤル」の実施訓練を継続的に実施している。保護者家庭には園児の成長に合わせた靴のサイズのチェックを求めるなどの配慮が行き届いている。園内で発生した事故や事故になる可能性のある事象について「アクシデント報告書」や「ヒヤリハット記入表」を作成し、職員間で共有し再発防止や予防につなげている。県の食品安全課が開催した「リスクコミュニケーター養成講習会」に園の栄養士が参加し「とても有意義」であったことが報告されていた。運営理念である「①安全と安心を第一に」の実現に向けて様々な活動が実施されている。</p> <p>○食育年間計画を立て、色々な食に関する活動に力を入れて取り組んでいる 食育年間計画をたて年間を4期に区分して、ねらい、子どもの活動、クッキングメニュー、栄養士の役割、家庭・地域への働きかけに分けて実施している。各年齢毎のクッキング年間計画も作られ、それぞれの年齢発達と興味等を考慮した活動が行われている。クッキング保育の実施にあたっては毎回、食育・クッキング企画書をたて、本部職員に提出し確認の上、作成した進行表に従って実施している。敬老会での子どもたちによる配膳・食前の挨拶、2・3歳児のサンドウィッチづくり等の親子クッキング、4・5歳児のボランティアをしている農家の方から野菜作りの話を聞き芋餅の調理、5歳児のお泊り保育でのカレーライスづくり等、対象年齢や子どもの人数、状態に合わせた企画は親子に好評で、利用者調査の結果にも表れている。園庭の畑やプランターで野菜等を栽培し給食で味わい、色々な形で食への興味や関心を育んでいる。</p> <p>○様々な専門的なボランティアを受け入れ、保育活動の充実などに活かしている 当園は今年度15名のボランティアを受け入れている。その業務内容は、女子栄養大学との交流によるクッキング保育や箸の使い方指導をはじめ、地域の歯科衛生士による歯科指導、園児の祖父による畑作りの世話、農家の方による野菜作りの指導等、園内で対応しにくい専門分野の内容についての援助となっており、助かっていると喜ばれている。その他に、ヒーローショー、環境紙芝居の鑑賞のほか、大学生や職場体験をとおして、子どもと遊んだり、おむつ交換や排泄補助、食事介助、製作準備等の保育業務の補助に携わるボランティアを多く受け入れ、保育活動の充実、子どもたちの楽しい保育園生活に活かしている。</p>

◇特にコメント要する点

○保育スペースの整備や清掃において、具体的に実施する課題や活動を明確にして改善の実践的な成果につなげることを期待したい

「環境整備」「保育スペースの整備」は平成26年度計画目標、おもちゃ3ヵ年計画の課題となっている。職員調査と利用者調査には共通した改善点・要望として園内の物品の整理整頓と清掃が指摘されており、園長も改善したいとの意向を持っている。前者は物理的制約が主因の一つに挙げられるが、同じ要因が職員の就労環境にも大きな影響を与えている。後者は園の衛生レベルを関係者が直接感じる重要な指標である。園長、職員、利用者間は良好なコミュニケーションが図られ信頼関係が培われている中、具体的に実施する課題や活動を明確にして改善の実践的な成果につなげることを期待したい。

○幅広いボランティア人材の導入も検討し、保育士の負担軽減につながる取り組みも模索されたい
当園では専門的なボランティアを含め、多くの人材を受け入れている。大学生や歯科衛生士、畑作りの世話や野菜作りの指導などのボランティアによる援助がある。保育園は保育士・栄養士等の直接処遇職員で運営され、園の運営管理関係等にあたる園長も保育士である。担任保育士も保育に関わる記録に加え、各保育室の清掃等もあり、トイレや廊下等の共用部分の清掃まで行き届かないこともあり、利用者や職員のアンケート結果にも清潔や整頓についての指摘もされている。用務職の採用検討も含め、近隣家庭の祖父母や主婦等に働きかけながら幅広くボランティア人材の開拓を進め、保育園内の清掃・整頓などの作業委託等を検討して保育士の負担軽減に向けた取り組みも期待したい。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

今年度はボランティアの方々のお力をお借りし、園内で対応しにくい専門分野の指導など、踏み込んだ保育内容の充実を図って参りました。また、開園からの念願であった関連小学校との交流を実現することができました。実際に小学校の雰囲気を経験することにより、不安を取り払い就学に向けての期待につなげることができ、園児のみならず保護者の方々にも大変好評で、大きな成果となりました。

しかしながら、園内の環境整備については改善すべき点があるため、課題の見える化を行い、職員一人ひとりの役割分担を明確にし、目標達成に向けて取り組んで参ります。

開園五年目を終えるにあたり、中長期計画の評価として子育て支援の充実を目標に掲げ、保護者の方々、地域の皆様との信頼関係の構築に向けた土台づくりができました。今後もさらに地域に根差した保育園を目指し、情報発信と信頼関係を深めると同時に、職員個々のスキルを高め、よりよい保育を提供できるよう努めて参ります。

⑤各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙